

## 滑床山ウラジロガシ等(遺伝資源)希少個体群保護林



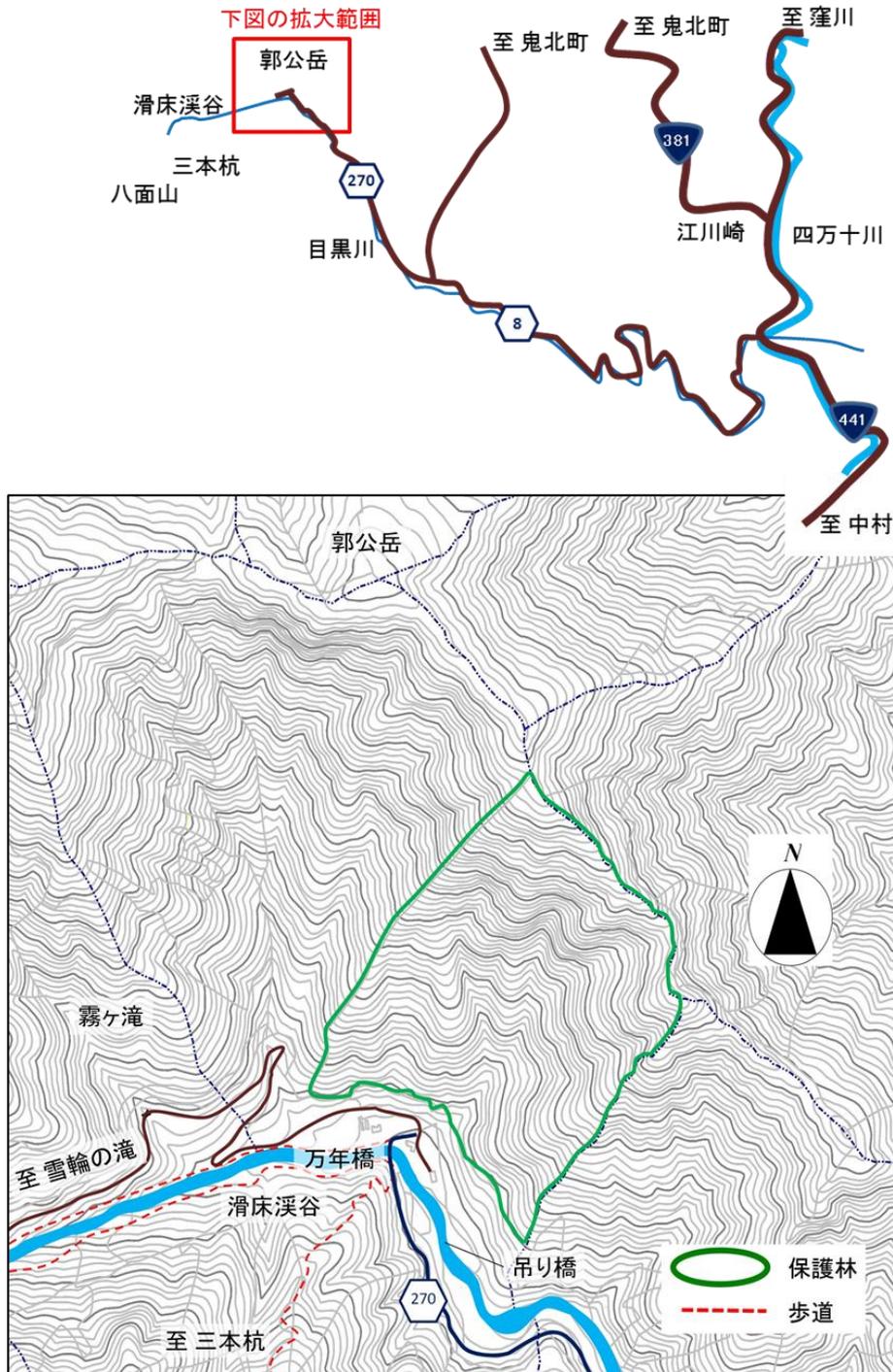
保護林は、目黒川の上流、滑床溪谷の入口にあります。

滑床溪谷の駐車場や万年橋から良く観察でき、多様な樹種構成が織りなす森林美と滑床の溪谷美が来る人の心を癒やしてくれます。

また、カシ類に代表される広葉樹群は、暖帯から温帯への植生の移り変わりをつぶさに見せてくれます。

【保護林マップ】

## 滑床山ウラジログシ等 (遺伝資源) 希少個体群保護林マップ



保護林内に歩道はありませんが万年橋付近からよく見ることが出来ます。  
万年橋より奥の林道は施錠されています。雪輪の滝方面へは歩道をご利用ください。

## 保護林周辺のイラストマップ

主に滑床周辺はこちら



雪崖、雪輪沢はこちら



鬼ヶ城山系はこちら



【上空から見た保護林】



(2012年3月27日撮影)

### 【保護林内の樹木】

当保護林内にはウラジログシ、アカガシ、カエデ類（イロハモミジ、オオモミジ、ウリカエデ、イタヤカエデ等）が主に生育していますが、その他にもケヤキ、ホソバタブ、ヤブニッケイ、カゴノキ、シロダモ、ミズメ、ヤマザクラ、モミ、ツガ等々約450種（草本を含む）の植物が生育しています。



▲郭公岳近くのアカガシの巨木（写真：森下嘉晴氏）

アカガシはドングリのなる木としては、唯一葉にギザギザがありません（全縁）。  
名前は材に赤みがあることに由来します。



▲アカガシの実(鷹取山保護林にて撮影)  
葉は互生、楕円形で先端がやや伸びる。鋸歯はない。



▲アカガシの実 (佐田山保護林にて撮影)



▲チャボホトトギス

9月ごろ花を咲かせます。

モミの特徴は梶ヶ谷山保護林を、ツガの特徴は横荒山保護林をご覧ください。